

## 南アジア超短期海外派遣プログラム（スリランカ）募集要項

### 募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます（注）。

スリランカの名門大学ペラデニヤ大学を訪問、大学における講義受講（英語）、研究室訪問、学生交流、工場見学、世界的にも珍しい象の孤児院、伝統的街作りを理解してもらうため複数の世界遺産の施設・街訪問等が予定されています（詳細は添付スケジュール参照）。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 スリランカ・ペラデニヤ大学、他

【渡航期間】 2016年8月16日（火）～8月26日（金）（8泊10日，機中2泊）

\*フライトは大韓航空・仁川経由便を利用予定。

【費用】 20万円程度（航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費）

\*現地での諸経費（食費、交通費等）は上記の費用には含まれません。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程1～4年生)。国籍・性別・学院・学科等は不問。
  2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
  3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
    - ① グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
    - ② ポートフォリオに必要事項を記入している。
- \*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

【応募方法】 添付の申請書をグローバル人材育成推進支援室宛てに提出して下さい。

【募集人数】 6名程度（最少催行人数6人に達しない場合、プログラムを中止する場合があります。）

【選考方法】 書類審査及び面接

【応募締切】 2016年6月6日（月）

\*応募に際しては、申請書類に類主任または学科長の承認を必ず得て下さい。

【面接予定日】 2016年6月8日（水）

### 【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

2016年6月15日（水）全体オリエンテーション(書類手続き等説明)

2016年6月22日（水）書類提出会・事前学習1:参加者マニュアル説明等

2016年7月上旬 事前学習2:現地訪問先についての参加者によるブリーフィング等

2016年8月後半 事前学習3: 訪問国出身者によるブリーフィング等

2016年10月：個別報告会

2017年4月：合同報告会@留学フェア（代表者のみ）

## 【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象です。以下の基準を満たした学生には6万円が支給される場合があります。（別途書類の提出が必要です。必要書類については、選考後の全体オリエンテーションにて説明します。

\*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

### 奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO））  
国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること➡学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

$$\left( \text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3 \right) + \left( \text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2 \right) + \left( \text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1 \right) + \left( \text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0 \right) \div \text{総登録単位数}$$

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者  
（原則として家計基準に合致する者）➡申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1B」の単位が付与されます（1単位）。  
（この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはなりません。）
2. 3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1B」の単位が付与されます（1単位）。
  - 1) 当該海外派遣プログラムにより得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合があります。
4. 帰国後、本学において単位認定出来ない場合には、奨学金を返納することになるので、対象プログラムにしっかり参加すること。

## 【プログラム内容の問合せ及び申請書提出先】

グローバル人材育成推進支援室 大岡山南6号館4階402号室 メールボックス：S6-13

電話：03-5734-3520（担当：田家(たや)） e-mail: ghrd.info@jim.titech.ac.jp

## スリランカ超短期派遣プログラム 2016 年度

日時	行動予定	訪問内容	宿泊
8月16日 (火)	成田発	移動。 飛行機でスリランカへ	機内
8月17日 (水)	--->コロンボ着	現地到着後、貸し切りバスでホテルへ	Negombo市周 辺ホテル
8月18日 (木)	ホテル --->シーギリヤ市	1500年前の建築物の見学、建築技術や 伝統的街づくりについての学習、世界 遺産を訪問	Dambulla 市 周辺ホテル
8月19日 (金)	ホテル --->Kandy 市	スリランカの古都・キャンディー市の 見学、歴史遺産などの見学。伝統的街 づくりについての研修。 午後～Peradeniya 大学を訪問。国際シ ンポジウムへ参加	Kandy 市周辺 ホテル
8月20日 (土)	Kandy 市内	Peradeniya 大学を訪問。国際シンポジ ウムへ参加	Kandy 市周辺 ホテル
8月21日 (日)	Nuwaraeliya 市へ	伝統的産業・紅茶づくりの研修（工場 見学、試飲を含む） イギリス人時代のまちづくりについて の研修	Nuwaraeliya 市周辺ホテル
8月22日 (月)	Ella 市へ移動	高原の紅茶産業、持続可能な観光開発 についての現地視察、関係者を対象の 面談など	Ella 市周辺ホ テル
8月23日 (火)	午前：Badulla 市へ移動 セミナー後、Hambanntota 市 へ移動	地方行政官庁でのセミナー、「持続可能 な観光産業と伝統文化」【仮題】	Hambanntota 市周辺ホテル
8月24日 (水)	Galle 市へ移動	各種観光施設を訪問、関係者との面談 (現地調査として)	Galle 市周辺 ホテル
8月25日 (木)	コロンボへ移動	地方行政官庁でのセミナー、意見交換 会 夜：飛行機で、日本へ	機内
8月26日 (金)	日本へ移動。	成田到着後、解散	